

個別保健事業実績管理表

A: 目標達成、B: 現状維持、C: 悪化

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価																	
						事業実施量					データヘルス計画目標値												
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度					
ポピュレーションアプローチ (集団全体へのアプローチ)	広報事業	あらゆる機会をとらえて、保健事業の周知および健康に関する知識の普及啓発を図ります。	各種イベントの参加者数の増加	① 窓口での啓発: 年中	全市民	窓口での啓発の実施	随時実施した				随時実施	—	—	—	—	—	—						
				② すこやかセンターだよりへの掲載: 年1回		すこやかセンターだよりへの掲載	1回(市内約35,000戸全戸配布)				1回												
				③ 広報、ホームページへの掲載: 年3回		広報掲載回数	23回	20回	16回	15回	—												
				④ 有線放送「声の広報」		有線放送回数	歯と口の健康、生活習慣病、食育、禁煙(COPD)、女性の健康等について各テーマ毎年1回以上放送				随時実施												
				⑤ ポスター掲示: 随時		ポスター掲示の実施	随時実施した				随時実施												
				⑥ 健康フェスティバル、学区民の集い等の各種イベントでの啓発: 随時		—	—	—	—	—	健康フェスティバルの参加者数							約550人	約418人	約333人	—	増加	—
				⑦ みんなで健康チャレンジの実施		学区民のつどいへの出動回数	4回	3回	2回	3回	7回							学区民のつどいへの参加者数	503人	213人	123人	356人	増加
	健康教育	保健師や管理栄養士等が積極的に地域に出向き、健康に関する知識の普及啓発を図ります。	健康教育出前講座の参加者数: 2,000人	健康教育出前講座の開催	全市民	健康教育出前講座の開催回数	61回	62回	70回	60回	—	健康教育出前講座の参加者数	1,662人	2,867人	2,367人	1,871人	2,000人	B					
	子どもへの歯科健康教育	保育園、幼稚園、こども園および小学校や中学校と連携し園児および児童、生徒に対する歯科保健指導を通じて、むし歯や歯周病等の予防を図ります。正しい知識の習得と自分の歯を守るという意識の向上に努めます。	中学3年生歯肉有所見者率の低下	歯科に関する健康教育の実施	市内の保育園、幼稚園、こども園の園児および小中学校の児童・生徒	歯科健康教育の実施回数、参加者数	11回 1,459人	9回 1,312人	11回 1,407人	12回 1,719人	随時実施する	中学3年生歯肉有所見者率	18.4%	22.9%	23.5%	27.3%	減少傾向(R4)	C					

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価													
						事業実施量					データヘルス計画目標値								
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度	
ポピュレーションアプローチ (集団全体へのアプローチ)	健康相談・栄養相談	より個々に応じた相談に対応できるように、保健師や管理栄養士等が積極的に地域に出向き、健康に関する個別相談を実施します。	総合健康相談の参加者数:700人	① 総合健康相談の実施:随時 ② 栄養相談の実施:随時	全市民	—	—	—	—	—	—	総合健康相談の相談者数	539人	288人	151人	356人	700人	C	
	小中学校防煙教育	小中学校の児童・生徒自身がたばこの害を学び、健康に生きていくための力を高め、未成年者の喫煙および受動喫煙を防止することを目的に、防煙教育を実施します。	防煙教育の参加校数:11校	防煙教育の実施	市内の小中学校の児童・生徒	防煙教育希望校調査の送付	市立小中学校13校で実施					13校	防煙教育参加校数	10校	12校	12校	13校	13校	A
	禁煙個別健康教育	喫煙者がたばこをやめたいと思ったときに、それぞれのニーズに応じてサポートするために、禁煙支援として個別相談を行います。	禁煙個別健康教育の参加者:400人(COPD検診後の事後指導を含む)	個別相談を実施	禁煙を希望する市民	—	—	—	—	—	—	禁煙個別健康教育参加者数(COPD検診後の事後指導を含む)	251人	274人	258人	193人	400人	C	
	医療費通知	被保険者に医療費の請求内容を通知し確認してもらうことで、医療費の実態への理解を求めるとともに、医療機関の請求ミス等を防止することにより、医療費の適正化と保険運営の健全化を図ります。	—	個別通知の実施:年6回	守山市国保被保険者	通知送付回数	6回	6回	6回	6回	6回	—	—	—	—	—	—	—	
	ジェネリック医薬品差額通知	被保険者が中長期的に服用している薬に対応する安価なジェネリック医薬品があることを通知することにより、被保険者自身の経済的負担と医療費の抑制を図ります。	通知後の切替率と効果額	滋賀県国民健康保険団体連合会に委託し、個別通知を年1~2回実施	守山市国保被保険者	ジェネリック医薬品差額通知送付回数、送付対象者数(延べ)	3回 2,207人	4回 3,218人	4回 2,580人	4回 1,920人	4回 1,500人	ジェネリック医薬品利用率(薬剤数量ベース)	73.3%	76.2%	77.8%	80.7%	—	—	
	重複受診者・頻回受診者・重複投薬者等への医療費適正化対策	お薬手帳の周知啓発や重複受診者・頻回受診者・重複投薬者への通知や訪問指導等を通して受診の適正化を図ります。	訪問対象者への訪問・通知:100%、受診行動に改善のあった人の割合:60%	滋賀県国民健康保険団体連合会に委託し、通知・訪問等を実施。	守山市国保被保険者	重複受診者・頻回受診者・重複投薬者への通知送付回数、対象者数(延べ)	—	—	1回 13人	1回 5人	1回 15人	訪問対象者への通知・訪問実施率	—	—	訪問 54%	訪問 60%	訪問 60%	A	
						重複受診者・頻回受診者・重複投薬者への訪問指導実施人数	—	—	7人	3人	10人	受診行動に改善のあった人の割合	—	—	62%	80%	60%以上	A	

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価													
						事業実施量					データヘルス計画目標値								
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度	
健 (検) 診受診率向上対策	特定健康 診査	糖尿病をはじめとする生活習慣病の早期発見や重症化を予防することを最終的な目的とし、メタボリックシンドロームの該当者および予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人を的確に把握するために実施します。	特定健康診査受診率: 60%	県内の実施医療機関で個別健診を実施	40歳から74歳までの守山市国保被保険者	個別健診の実施	湖南圏域を中心に県内医療機関で実施					—	特定健康診査受診率	37.9%	38.4%	43.3%	43.3%	60%	B
						特定健診無料受診券の発行数、率	12,115通 (100%)	11,718通 (100%)	11,598通 (100%)	11,291通 (100%)	対象者 全員								
	39歳以下 健診	糖尿病をはじめとする生活習慣病の早期発見や重症化を予防することを最終的な目的とし、メタボリックシンドロームの該当者および予備群を減少させるための保健指導を必要とする人を的確に把握するために実施します。	39歳以下健診受診率の 向上	守山・野洲市内の実施医療機関で個別健診を実施	18歳(健診日当日)以上39歳以下の市民	個別健診の実施	守山・野洲市内の医療機関で実施					—	39歳以下健診受診率	0.9%	1.1%	0.8%	0.9%	増加	B
	人間ドック・脳ドックの費用助成	健診結果の提供を受けることにより特定健康診査の受診率の向上を図るとともに、特定健康診査等では発見しにくい疾病の早期発見・早期治療による健康寿命の延伸と医療費の抑制を図ります。	受診率と特定健康診査受診率向上への寄与の度合い	現物給付と償還払いによる助成事業を実施	40歳以上の守山市国保被保険者	人間ドック・脳ドックの費用助成事業の実施	国内の人間ドック実施医療機関分について助成した					—	受診率	4.9%	5.2%	5.0%	4.7%	—	—
												—	特定健康診査受診者数に占める割合	13.3%	13.6%	11.8%	11.1%	—	—

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価												
						事業実施量					データヘルス計画目標値					中間評価時の 達成度		
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30		R1	目標 (R5)
健 (検) 診受診率 向上対策	がん検診	がんの早期発見・早期治療を目的に、がん検診を実施します。	胃・大腸・子宮・乳がん・肺がん検診の受診率の向上	胃・大腸・子宮・乳がん・肺がん検診の実施	市がん検診対象者	胃がん集団検診の実施	14回	10回	10回	5回	—	胃がん検診受診率	2.6%	2.9%	2.6%	3.4%	増加	A
						胃がん個別検診の実施(X線)	市内契約医療機関で実施				—							
						胃がん個別検診の実施(内視鏡)	—	—	—	市内2医療機関で実施	—							
						大腸がん個別検診の実施	市内と野洲草津栗東市内医療機関において実施				—	大腸がん検診受診率	20.3%	17.4%	17.8%	18.2%	増加	C
						大腸がん検診無料クーポンの送付数、率	5,318通(100%)	—	—	—	クーポン対象者全員							
						子宮がん集団検診の実施	6回	—	—	—	—	子宮がん検診受診率	25.3%	27.3%	31.0%	31.6%	増加	A
						子宮がん個別検診の実施	県集合契約に基づき県内医療期間で実施				—							
						子宮がん検診無料クーポンの送付数、率	1,780通(100%)	415通(100%)	414通(100%)	403通(100%)	クーポン対象者全員							
						乳がん個別検診の実施	県集合契約に基づき県内医療期間で実施				—	乳がん検診受診率	22.0%	22.0%	24.9%	25.2%	増加	A
						乳がん検診無料クーポンの送付数、率	2,071通(100%)	677通(100%)	692通(100%)	635通(100%)	クーポン対象者全員							
						肺がん個別健診の実施	市内1医療機関で実施				—	肺がん検診受診率	3.3%	4.9%	5.4%	11.4%	増加	A
						がん検診受診勧奨通知の実施	全がん検診において実施				—							

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価													
						事業実施量					データヘルス計画目標値								
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度	
健 (検) 診 受 診 率 向 上 対 策	骨粗しょう症 検診	女性に多くみられる骨粗しょう症の予防・早期発見・早期治療により、健康寿命の延伸と医療・介護費用の抑制を図ります。	骨粗しょう症 検診受診率の 向上	実施医療機関にて個別検診を実施	30歳から70歳までの5歳刻みの女性	骨粗しょう症個別 検診の実施	市内1医療機関で実施				—	骨粗しょう症検診 受診率	9.3%	9.9%	10.6%	10.0%	増加	A	
	骨密度検診 の費用助成	女性に多くみられる骨粗しょう症の予防・早期発見・早期治療により、健康寿命の延伸と医療・介護費用の抑制を図ります。	受診者数と 女性の被保 険者に占める 割合	現物給付による助成事業を実施	30歳以上の守山市国保被保険者の女性	現物給付による 助成事業の実施	市内1医療機関実施分について 助成した					—	受診者数	6人	6人	2人	12人	—	—
												—	女性の被保険者に占める割合	0.09%	0.09%	0.03%	0.18%	—	—
	呼吸器疾患 検診 (COPD検診)	呼吸器疾患検診を実施することで、肺がんをはじめCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の早期発見・早期治療につなげ、肺がんによる死亡率の減少や呼吸器疾患の重症化を予防します。	COPD検診受診率の増加	実施医療機関にて個別検診を実施	60・65・70・75歳の市民	COPD個別検診の実施	市内1医療機関で実施				—	COPD検診 受診率	33.6%	37.7%	41.3%	34.8%	増加	A	
	歯周病検診 の実施	歯周病の早期発見・早期治療を行うことで、歯の喪失を予防し、口腔内の健康を維持するため、歯周病検診を実施します。	歯周病検診 受診者数の 増加	実施医療機関にて個別検診を実施	20歳から74歳までの市民(在宅訪問で実施する場合は上限なし)	歯周病検診個別 検診の実施	湖南4市の歯科医院で実施				—	歯周病検診 受診者数	136人	136人	169人	218人	増加	A	
	受診状況 アンケートの 実施	特定健康診査未受診者のうち、治療中患者数、事業主健診受診者数、および未受診の理由を把握し、個々に応じたアプローチができるようにアンケートを実施します。	アンケート返 信率:50%	特定健康診査受診券発送時に受診状況アンケートを送付	特定健康診査対象者	アンケートの送付数、率	12,115通 (100%)	11,718通 (100%)	11,598通 (100%)	11,291通 (100%)	対象者 全員	アンケート返信率	1,702通 14.1%	1,575通 13.4%	1,374通 11.8%	1,455通 12.9%	50%	C	
特定健康 診査未受診 者個別勧奨 通知	特定健康診査受診率の向上を目的に、個別通知による受診勧奨を行います。	受診勧奨が 必要な人への アプローチ: 100%	現状分析を行い、受診勧奨が必要な人に個別勧奨通知を送付する。	特定健康診査未受診者	勧奨個別通知の送付回数	2回	2回	2回	3回	年1回 以上	受診勧奨の結果、 受診につながった者の割合	87.0% (4,719通 発送、 4,105人 受診)	57.5% (7,098通 発送、 4,080人 受診)	30.0% (14,997 通発送、 4,504人 受診)	43.9% (10,945 通発送、 4,802人 受診)	—	—		
勧奨個別通知の送付数人数(3年連続未受診者)	2,599人	4,724人	—	—	—														
勧奨個別通知の送付数人数(昨年度受診者で今年度未受診者)	2,120人	2,374人	—	—	—														
勧奨個別通知の送付数人数(1回目)	—	—	8,599人	2,289人	—														
勧奨個別通知の送付数人数(2回目)	—	—	6,398人	4,598人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
勧奨個別通知の送付数人数(3回目)	—	—	—	4,058人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価												
						事業実施量					データヘルス計画目標値							
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評 価時の 達成度
健 (検) 診 受 診 率 向 上 対 策	39歳以下健診個別勧奨通知	職場や学校等で健診を受ける機会のない人たちが、健診を受診できるように個別通知を行います。	39歳以下健診の新規受診者の増加	39歳以下健診対象者に健診お知らせはがきを送付	守山市国保被保険者のうち、39歳以下健診対象の人	39歳以下個別健診の実施	守山・野洲市内の医療機関で実施				—	39歳以下健診の新規受診者数	94人	154人	103人	103人	増加	A
	治療中患者情報提供票の活用	治療中患者の検査データを把握することで、保健指導を必要とする人にはたらしめかけるとともに、特定健康診査の受診率向上を目指します。	治療中患者情報提供票利用者数:100人	医師会と連携し、治療中患者情報提供票を活用	特定健康診査対象者のうち治療中の人	—	—	—	—	—	—	治療中患者情報提供票利用者数	6人	10人	12人	31人	100人	B
	事業主健診の結果把握	事業主健診結果を把握することで、保健指導を必要とする人にはたらしめかけるとともに、特定健康診査の受診率向上を目指します。	事業主健診結果提供者数:50人	① 守山商工会議所で事業主健診を受診する人が、特定健康診査の受診券を持参することで、特定健康診査を受診したとみなします。 ② 受診状況アンケートで未受診の理由に、「職場で健診を受けているから」と回答した人に対し、事業主健診結果提出依頼の個別通知を行います。	特定健康診査対象者のうち事業主健診受診者	守山商工会議所の事業主健診で特定健康診査の受診券を持参した人数	1人	0人	2人	0人	—	事業主健診結果提出者	46人	40人	62人	70人	50人	A
						事業主健診結果提出依頼の個別通知数	75人	75人	82人	118人	—							
「わ」で輝く自治会応援報償事業との連携	自治会加入率約95%という現状の中、地域とのつながりを活かした自治会の健診受診率の向上への取組を奨励することで、健診受診率向上を図ります。	健診受診率向上の取組を実施した自治会:100%	健診受診率向上の取組を実施	全市民	「わ」で輝く自治会応援報償事業での健診受診率向上のメニューの設定	自治会活動において、健診受診促進のための取組メニューを提示した				全自治会に対してメニューを提示	健診受診率向上の取組を実施した自治会の割合	55自治会 78.6%	58自治会 82.9%	59自治会 84.3%	65自治会 91.5%	100%	B	

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価													
						事業実施量					データヘルス計画目標値								
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度	
生活習慣病発症予防	健診受診後の情報提供	生活習慣の改善および生活習慣病発症予防のために、健診受診者全員に生活習慣病に関する情報提供を行います。	医師による結果説明を受けた人: 健診受診者全員	医師による結果説明	39歳以下健診および特定健康診査受診者全員	結果説明用パンフレットの配付	守山・野洲市内の医療機関へ配布					守山・野洲市内の医療機関へ配布	医師による結果説明を受けた人の割合	健診受診者全員	健診受診者全員	健診受診者全員	健診受診者全員	健診受診者全員	A
	特定保健指導	メタボリックシンドローム該当者および予備群の減少を目的に特定保健指導を実施します。	特定保健指導実施率: 60%	① 特定健診実施医療機関にて健診結果説明時に、対象者に対し特定保健指導の利用勧奨を実施	積極的支援対象者、動機付け支援対象者	健診結果説明時の特定保健指導の利用勧奨実施率	100%	100%	100%	100%	100%	特定保健指導実施率	43.9%	52.5%	54.2%	51.6%	60%以上	B	
						特定保健指導利用勧奨通知の送付数、率(初勧奨)	332通(100%)	356通(100%)	391通(100%)	350通(100%)	特定保健指導対象者全員								
						特定保健指導利用勧奨通知の送付、率(再勧奨)	230通(100%)	256通(100%)	255通(100%)	265通(100%)	特定保健指導未利用者全員								
				特定保健指導利用再々勧奨(通知、電話、訪問)の実施数、率	45人(20.8%)	187人(91.2%)	178人(87.7%)	213人(88.8%)	—										
	39歳以下健診保健指導	メタボリックシンドローム該当者および予備群の減少を目的に保健指導を実施します。	39歳以下健診保健指導実施率: 50%	特定保健指導に準じた保健指導の実施	39歳以下健診積極的支援対象者、動機付け支援対象者	特定保健指導利用勧奨通知の送付(初勧奨)	9通(100%)	4通(100%)	15通(100%)	18通(100%)	保健指導対象者全員	39歳以下健診保健指導実施率	22.2%	50.0%	13.3%	22.2%	50%	B	
	糖尿病発症予防	糖尿病の発症予防を目的に、非肥満で糖尿病発症のリスクのある人を対象に情報提供を行います。	情報提供実施率: 100%	① 糖尿病、保健指導に関するリーフレットを個別に送付し情報提供	特定健康診査受診者のうち、非肥満でHbA1c5.6~6.5%の人(※未受療者対策対象者、特定保健指導対象者、服薬中者は除く)	リーフレットの個別送付数	1,344通(100%)	1,156通(100%)	1,293通(100%)	1,029通(100%)	対象者全員	HbA1c正常値(~5.5)の人の割合	45.0%	34.6%	39.0%	—	—	—	
② 希望者に対し保健指導を実施				保健指導実施件数		56件	0件	0件	0件	申込者全員									

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価													
						事業実施量					データヘルス計画目標値								
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度	
生活習慣病重症化予防	未受療者対策・治療中断者対策	生活習慣病の重症化を防ぐために、健診で検査データが要医療域であった人を対象に、医療機関受診状況を確認し、適切な受診行動がとれるように働きかけます。	受診勧奨判定値以上の者へのアプローチ:100%	対象者に通知(受診状況の調査)を行い、医療機関受診状況の確認を行います。	特定健康診査受診者のうち、下記の条件にあてはまる人で特定保健指導を受けていない人 ①血圧 収縮期140mmHg以上160mmHg未満または拡張期90mmHg以上100mmHg未満 ②血糖 HbA1c6.5%以上7.0%未満 ③脂質 LDL140mg/dl以上180mg/dl未満またはTG300mg/dl以上500mg/dl未満	対象者への通知(受診状況の調査)の発送数、率	—	—	628通 (100%)	563通 (100%)	対象者全員	未受療者対策・治療中断者対策対象者の受診率	—	—	73.7% (628通中、463人受診)	63.1% (563通中、355人受診)	—	—	
	対象者からの返信数、率(受診状況の調査)	—	—	431通 (68.6%)	329通 (58.4%)	—													
未受診者および未返信者に対する医療機関受診状況の確認の実施数、率	—	—	304人 (100%)	328人 (100%)	未受診者および未返信者全員														
受診行動未確認者(受診なし者、返信なしかつレセなし者)への受診勧奨後の医療機関受診状況確認実施数、率	—	—	196人 (100%)	243人 (100%)	受診行動未確認者全員														
生活習慣病重症化予防	ハイリスク者対策	受診勧奨判定値以上の者のうち、ハイリスク者を確実に医療につなぐことで重症化予防を図る。	未受療者へのアプローチ:100%	① 対象者に通知(受診状況の調査)を行い、医療機関受診状況の確認を行います。	特定健康診査受診者のうち、下記の条件にあてはまる人で特定保健指導を受けていない人 ①血圧 収縮期 ≥ 160 mmHgまたは拡張期 ≥ 100 mmHg ②血糖 HbA1c $\geq 7.0\%$ ③脂質 LDL ≥ 180 mg/dlまたはTG ≥ 500 mg/dl ④腎機能 eGFR < 45 ml/分/1.73m ² (70歳以上は40未満)または尿たんぱく(2+)以上または尿たんぱく(+)かつ尿潜血(+)以上 ⑤尿酸 血清尿酸値 ≥ 9.0 mg/dl	対象者への通知(受診状況の調査)の発送数、率	561通 (100%)	407通 (100%)	572通 (100%)	532通 (100%)	対象者全員	ハイリスク者の受診率	87.5% (561通中、491人受診)	91.6% (407通中、373人受診)	92.8% (572通中、531人受診)	92.7% (532通中、493人受診)	—	—	
	対象者からの返信数、率(受診状況の調査)	412通 (73.4%)	293通 (72.0%)	406通 (71.0%)	387通 (72.7%)	—													
	未受診者および未返信者に対する医療機関受診状況の確認の実施数、率	187通 (100%)	137通 (100%)	183通 (100%)	171通 (100%)	未受診者および未返信者全員													
				② 受診行動が未確認である人について、レセプト確認や訪問等で状況を確認し、受診勧奨を行います。	受診行動未確認者(受診なし者、返信なしかつレセなし者)への受診勧奨数、率	81人 (100%)	64人 (100%)	65人 (100%)	57人 (100%)	受診行動未確認者全員									
				③ 受診勧奨後、適切な受診行動がとれているか経年的に評価し、フォローしていきます。	受診勧奨後のレセプト確認実施数、率	81人 (100%)	64人 (100%)	65人 (100%)	57人 (100%)	受診行動未確認者全員									

区分	事業名	目的および概要 (計画策定時)	目標	取組内容	対象者	評価												
						事業実施量					データヘルス計画目標値							
						指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	指標	現状 (H28)	H29	H30	R1	目標 (R5)	中間評価時の 達成度
慢性腎臓病 (CKD) 予防	慢性腎臓病 (CKD) 予防	新規人工透析患者を減らすために、人工透析ハイリスク者を対象に保健指導を行います。	新規人工透析患者の減少	個別保健指導(継続フォロー) ① 治療中患者:かかりつけ医からの栄養指導指示書をもとに保健指導を実施します。 ② 未治療者:医療機関受診勧奨を実施します。	特定健康診査受診者(人間ドック受診者、治療中患者情報提供者、事業主健診受診者等を含む)のうち、次の①または②に該当する人 ①尿たんぱく2+以上 ②eGFR 50未満(70歳以上は、40未満)	保健指導対象者数	63人	58人	84人	32人	—	新規人工透析患者数	—	9人	9人	11人	9人/年	C
保健指導の実施数、率	22人 (34.9%)	19人 (32.8%)	15人 (17.9%)	11人 (34.4%)	25人													
未治療者に対する受診勧奨の実施数、率	43人 (100%)	9人 (90.0%)	14人 (93.3%)	6人 (100%)	未治療者全員													